



商工会やまなし

未来に敏感、人が中心

SHOKOKAI-YAMANASHI

■発行所／山梨県商工会連合会 ■発行人／会長 竹井清八 ■住所／〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館3F
 ■TEL／(055)235-2115 ■URL／<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>

第248号

平成22年7月

年6回1・3・5・7・9・11月の末日発行

定価120円

会員の購読料は会費に含んでおります。



—今年は商工会法施行50周年—

商工会は行きます 聞きます 提案します
 ~会員満足向上運動~



商工会が誕生したころ（昭和30年代）の作業風景。
 隆盛の頃は、ガチャマン景気（繊維を折る機械がガチャンと一度いうと壹万円）という言葉も生まれた。

CONTENTS

- 2 …活性化支援事業⑨商工会採択
農商工等人材育成事業
- 3 …滞在型観光を推進しよう
- 4 …簡単・無料でホームページ
青年部主張発表大会
- 5 …マーケティング調査引き受けます
育児・介護休業法改正
- 6 …がんばる企業応援します
(笛吹市 江戸屋商店)
しつ得なっ得
- 7 …中小企業景況調査
- 8 …関東ブロック商工会女性部交流研修会



季節の花でお出迎え
(6P 江戸屋商店)

商工会50年 地域とともに半世紀 ～その2～

山梨を代表する伝統産業としてあげられるのはなんといっても繊維産業。郡内地域は古くからその一大拠点として栄え、現在も高い技術を持つ産地として知られている。商工会15周年記念誌に掲載されている「県内工業の現況」には繊維工業が筆頭に記され、昭和49年の記録として関連事業所数は6513、生産額は現在の二倍以上の693億円となっている。

また、養蚕と製糸業も盛んであった。養蚕業は昭和43年に戦後の最盛期を迎える桑畑の面積は1万2千ヘクタール、繭生産量は1万3千トンと全国4位となっている。

時代の流れの中、桑畑の多くは果樹園へと姿を変え「フルーツ王国山梨」の礎となり、商工会の取り組む「農商工連携事業」の舞台となっている。

商工会地域産業活性化支援事業採択商工会一覧

No.	商工会名	内 容
1	都留市 (地域資源活用)	地域資源を活用した新製品開発及び販路拡大に取り組む小規模事業者支援。(特産品の認定制度研究・情報収集・販路拡大イベントへの参加・新製品開発など)
2	山梨市 (企業間交流)	製造業者の基盤整備のためのセミナー開催や製造業グループによる企業間交流による販路開拓研究、企業間の情報交換に取り組む。
3	北杜市 (地域資源活用)	地元産米粉を活用した新商品開発研究。 (セミナー・テストマーケティング・意見交換会 など)
4	甲斐市 (企業間交流)	若手製造業者部会による新分野進出に向けた未利用地域資源(桑の葉)の活用によるビジネス化への取り組み。 (成分分析・市場調査・デザイン研究・試作品作成など)
5	甲州市 (企業間交流)	集客のできるHP作成に向けた構築演習等の取り組み。 (動画などによるサイトコンテンツの充実手法、コミュニティーツールの活用研修など)
6	中央市 (地域資源活用)	地域資源であるトマトの成分分析等について、山梨大学と追加共同研究等を行う。(製品開発の可能性研究など)
7	市川三郷町 (地域資源活用)	のっぴいで栽培される「大塚人参」の規格外品を活用した商品開発、販路開拓、事業化に向けた調査、研究事業。 (成分分析・先進事例研修など)
8	昭和町 (地域資源活用)	大規模商業施設出店をみすえ、特徴ある取り組みで誘客を図る地域農産物を活用した農商工連携を研究する取り組み。 (地域資源の精査・講習会・報告書作成など)
9	西桂町 (地域資源活用)	三つ峠ガイドの養成と組織化、モニタリングツアーの実証実験と改善。ホームページ等活用による特産品認証製品の販売促進。

商工会連合会は、今年度、地域資源等の活用や普及、製造業等の新製品開発、販路開拓、調査研究、地域事情に合わせた新しい商業空間の創出などに取り組もうとするグループ等を対象に助成する商工

会地域産業活性化支援事業に九商工連合会を採択した。

本事業は、工業系グループ等を支援する企業間交流支援事業、商業系グループ等を支援する共同販促等商店街活動リニューアル支援

「小規模事業者等の振興と産業活性化にむけて」

平成二十二年度商工会地域産業活性化支援事業九商工会を採択

事業、地域資源の活用や農商工連携等を模索するグループ等を支援する地域資源活用取り組み支援事業からなっており、一商工会あたり二十万円を限度に助成される。商工会連合会では、本事業をステップに研究を重ね、地域産業活性化に寄与できる取り組みに発展することに期待を寄せている。

NPO法人
ふえふき旬感ネット(笛吹市)
農商工等人材育成事業(全国連)
の研修実施機関に選定

農林水産物の生産や加工、消費者ニーズを踏まえた販路開拓までを一つのビジネスサイクルととらえ、戦略的に農商工連携を展開する「核」となる人材を育成・確保することを目的に研修等を行う本事業に全国四十四か所のひとつとして、「NPO法人ふえふき旬感ネット」が選定された。

同法人の農商工連携による規格外農産物の高付加価値化や地域資源を活用した体験プログラムの研修や検証などが高く評価されての採択となつており、今後、笛吹市の支援を受け、研修事業が展開されることとなる。

ビーネスソーフニ e ラプラス +

ソフトウェア開発/販売/ネットワーク/教育



肉体派SEが
あなたの会社をお助けします。

株式会社 Ysk e-com
www.ysk.co.jp

本 社 〒400-8560 山梨県甲府市湯田1-13-2 tel.055-236-1111 fax.055-236-1166
Do-KASUGA 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-20-18 tel.055-236-1111 fax.055-208-1122
支 店 〒105-0021 東京都港区東新橋2-9-2 7階 tel.03-5401-1022 fax.03-5401-1060

滞在型観光を推進しよう

「地域の魅力でおもてなし」事業スタート

地域特有の資源を活用し新製品の開発や地域振興事業などに取組む「地域資源∞全国展開プロジェクト」の一環として本年度からスタートした「地域の魅力でおもてなし事業」に、県内2商工会のプロジェクトが採択された。今後、三年間にわたり事業展開を図っていく計画。

この事業は、地域に今ある産品や観光資源等、地域の様々な魅力で誘客を図り、地域活性化や販路開拓を図るもの。全国で26件が採択された。

ラジウムと自然のテーマパークでおもてなし

北杜市商工会

「増富ラジウム温泉博覧会2010」を計画、「大地のパワー・ヒトの心のおもてなし」を事業コンセプトに増富の魅力（温泉・自然・体験）を地域住民が一丸となって提供する。

ラジウム温泉を中心に、森林、渓流、ヨシャーの鉱泉、湯治といった豊富な自然や文化を活用し、"地域住民とお客様が一緒に作り上げる"体験、体感型イベントを開催する。増富地域の新たな魅力を創出し、アピールすることにより幅広い世代の交流人口の増加につなげていく。

ラジウム温泉を活用し「新湯治体験」「癒しをテーマにした療法」の提供、手作りこんにゃく、菓子、ほうとうなどの味覚体感、地域の人が育んできた風土・文化・歴史にふれる取り組みなどで、癒しと健康を求める人々の交流人口を増やしていく。



「ぶどう」に根付いた文化の奥深さでおもてなし

笛吹市商工会

「ぶどうEXPO2010」と題し、生産量日本一を誇る「ぶどう」をキーワードとした様々なイベントを実施する。

豊富な自然やフルーツ、石和温泉などの恵まれた地域の魅力を有効に束ねるとともに「ぶどう」をキーワードとした地域の魅力を観光客に提供し続ける体制を構築。観光客の「来訪回数」「滞在時間」「観光消費額」の拡大を目指していく。「ぶどう祭り」や「ヌーボーで乾杯！」といった個性的なイベントの集中展開、各ワイナリーでの「ワイン作り体験」や「笛吹は夜がいい！」と銘打ったナイトツアーの設定、さらには「ぶどうクーポン（仮称）」の活用や観光タクシー等二次交通の充実など着地型観光と観光ルート化を推進する。

これらの取組により、観光客の満足度向上とリピーター化を図る。



応援します、あなたの企業

 山梨県信用保証協会

「景気対応緊急保証」

(取り扱いは平成23年3月末まで)

売上の減少や収益が圧迫されている中小企業の皆様の資金繰りを、
本制度でサポートします。(セーフティネット保証)
対象業種も拡大されました。(農林水産業、金融・保険業、公務、
学校法人、政治・経済、文化団体、宗教等は除く)

他の保証制度や保証協会について詳しくはホームページをご覧ください。

本店 甲府市飯田2-2-1（山梨県中小企業会館）
TEL 055-235-9700 FAX 055-232-0160
URL:<http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>
E-mail:shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp

富士吉田店 富士吉田市下吉田1832
TEL 0555-22-0992 FAX 0555-22-0921



「SHIFT」は、全国商工会連合会が運営するコンパスクラブ『一〇〇万会員ネットワーク』<http://compass.shokokai.or.jp/> の一部機能で、簡単な入力で事業PRホームページを作ることができるシステム。現在、全国で7万人の会員事業所が登録し活用している。

▼操作は簡単
インターネット接続ができるパソコンがあれば、ページの作成・更新は専用サイトの画面にそって文字や画像の入力をするだけ。専用ソフトや専門知識は必要なく簡単にホームページが作成できる。

▼効果的な情報発信
入力した新着情報は即座に更新されると同時に、商工会・県連合会・全国連コンパスクラブの3カ所のホームページに表示されるので、より多くのインターネットユーザーに事業PRをおこなうことができる。

▼ネットショップの開設も簡単

商品販売ができる「買い物かご」や「問い合わせフォーム」「クーポンの発行」などの機能も充実している。また宿泊施設の「予約フォーム」なども簡単に作成できる。

▼検索サイトに対応したページを作成
各種検索サイトから検索されやすいページが作られる

商工会会員限定 ホームページが作れる!!

お申込み、お問合せは商工会まで

▼携帯電話からも更新が可能
新着情報の登録は携帯電話からでもおこなえる。携帯のカメラで撮った画像をそのままホームページへ転送したり、外出先から情報の更新もできる。

サポート力強化!! 経営セーフティ共済(中小企業倒産防止共済)の改正のおしらせ

取引先が倒産し、売掛債権等の回収が困難となったとき貸付けが受けられる「経営セーフティ共済」制度が改正されました。

改正内容 共済事由の拡大

取引先事業者が私的整理^(注1)を行なう場合「倒産」とし、共済金の貸付けを受けられるようになります。

改正日 平成22年7月1日

※平成22年7月1日以降の私的整理^(注1)から貸付けの対象となります。

改正前(平成22年6月30日まで)

改正後(平成22年7月1日から)

法的整理 取引停止処分 → 法的整理 取引停止処分

私的整理 OK!

注1 弁護士等からの「支払停止通知」があった場合を対象とします。

青年部交流大会(主張発表大会) 開催 河西 通友氏(中央市)が山梨県代表に!

平成22年7月3日、昭和町アピオにて、青年部交流大会(主張発表大会)が開催された。

最優秀賞には「青年部活動に参加してトマトでまちづくり計画・夢を叶える仲間たち~」と題し発表した河西 通友氏(中央市)が輝いた。

河西氏は、9月14日に新潟県で開催される関東大会へ山梨県代表として出場する。

また、講演会では、本年度の重点目標である部員企業の「経営革新計画承認」に向けて、承認企業(株)やおき 代表 藤本恭司氏(大月市商工会青年部)らが、承認に向けたアドバイスなどを話した。

○受賞者一覧(敬称略)

主張発表大会の受賞結果は、下記の通り。

- 最優秀賞 河西 通友(中央市商工会青年部)
- 優秀賞 雨宮 亮二(山梨市商工会青年部)
- 優良賞 小池 晃司(身延町商工会青年部)
- 三枝 治男(西桂町商工会青年部)



最優秀賞に輝いた河西氏

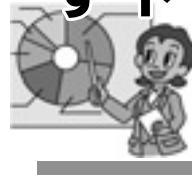
商品開発には、消費者ニーズの把握がカギを握ります。本会では、山交百貨店地下一階に特設展示ブースを設け、商工会地域の特産品等について、商品マーケティング調査を代行する事業を実施します。専門家による調査をもとに、商品改良点や販売戦略を提案する他、商品開発に向けてビジネスパートナーとのコーディネートなども行い、売れる商品づくりをサポートします。

調査料は無料。調査の申し込みは、各商工会にて受け付けている。

▲募集要項概要

● 調査対象商品
① 農商工連携や地域資源活用等で企画や製造された特産品等
② 地域の特色のあるオリジナル商品
※ 開発中のものだけではなく、製品化されているものでも可
● 主な出品カテゴリ
食材（農作物等）・食品加工品・地域色のある工芸品など
● 申し込み
所定の用紙にて申込み（随時受付）

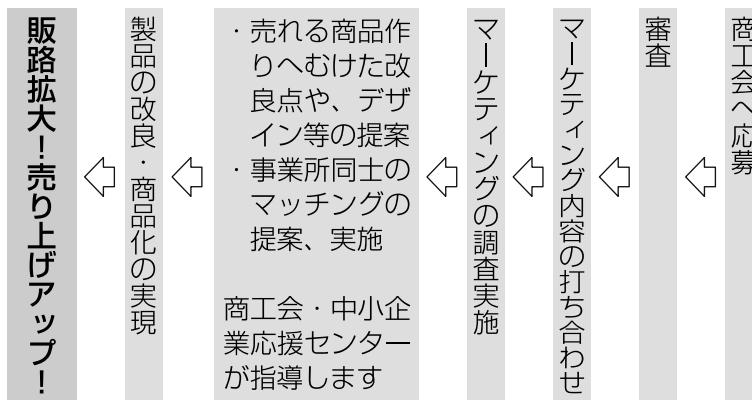
「売れる商品づくり」をサポート



- 費用負担 マーケティング調査料は無料。
- その他 必要商品の搬入、サンプル品提供等の諸経費は申込み事業所が負担

期間中、商品PRの機会として、山交百貨店地下一階「山梨良品コマーナー」での展示販売も可能。問い合わせ・申し込みは各商工会か県連指導課まで

事業の流れ



今回の育児・介護休業法改正のポイント（平成22年6月）

- 3歳までの子を養育する労働者について、「短時間勤務制度（1日6時間）」「所定外労働の免除」を制度化する。および子の看護休暇制度を拡充する。
- 父母がともに育児休業を取得する場合、休業可能期間が1歳2ヶ月に達するまでに延長。
- 父親が出産後8週間以内に育児休業を取得し、後に復帰した場合、再度育児休業を取得可能とする。
- 配偶者が専業主婦（夫）であれば育児休業の取得不可とすることができる制度の廃止。
- 介護のための短期の休暇制度を創設する。

育児・介護休業法が改正されました！

このほど、育児・介護休業法が改正されました。就業規則等の改定の必要があります。助成制度を上手に活用し、職場環境作りに取り組みましょう。

（なお、従業員100人以下の事業所については一部規定の施行猶予期間があります）

改正就業規則の例文は労働局HPからダウンロードできます。

●中小企業子育て支援助成金 <平成24年3月31日までの制度>

育児休業取得者が出た事業所へ100万円を支給

常用労働者100人以下の企業において、育児休業取得者、短時間勤務制度の利用者が平成18年4月1日以降初めて生じた事業主に支給。（一定の要件を満たす必要があります。）

<受給できる額> 対象者が初めて出た場合に、5人目まで支給します。

**1人目100万円
2人目～5人目まで80万円**

※同一の事業主であって、同一の労働者が複数回支給要件に該当する場合等は最初に該当する場合についてのみ支給対象となります。

●詳細についてのお問い合わせ

労働局雇用均等室 Tel 055-285-2859

●育児・介護雇用安定等助成金

代替要員確保コース

育児休業取得者の代替要員を確保し、育児休業者を原職等に復帰させた時に支給

原職等復帰の規定時期	対象者	支給額（対象者1人当たり）
H12年4/1以降	最初に生じた場合	50万円 [40万円] ※
	2人目以降対象者	15万円
H12年3/31まで	対象者が生じた場合	15万円

※〔〕内の金額は、一般事業主行動計画の策定・届出が無い場合の金額です。

※上記は中小企業への助成金額。

子育て期の短時間勤務支援コース

子供を養育する労働者のための短時間勤務制度を設け利用者が生じたとき支給

対象者	支給額（対象者1人当たり）
H22年4/1以降 初めて生じた対象者	小規模事業主100万円 中規模事業主50万円
	2人目以降の対象者 小規模事業主80万円 中規模事業主40万円

(財)21世紀職業財団 Tel 055-236-5271



見るだけでも楽しい店内。「ごまどうふ」のロゴは、武川さんの息子さんの力作。

化は、簡単に進んだわけ足け
などから、当初は商品化足け品

家から得るヒントや情報を進
きたいと意欲的だ。
「ごまどうふ」の商品化

甲府方面から河口湖に向かう若彦路。そののどかな果樹園地帯の中にある「江戸屋商店」。現在、オリジナルの「ごまどうふ」の商品化に取り組み、「自分らしさ」をモットーに新たな経営に挑戦している。

「自分らしさが發揮できていな時は楽しくないし、売れなかつたですね。」と語るのは、店を切り盛りする武川昌代さん。店内は、季節の花や昔懐かしい民具などを利用したディスプレイなどであふれている。すべて武川さんのアイデア。楽しい雰囲気に包まれている。このお店づくりのきっかけとなったのは商工会の行った店舗指

現在は「食料品等卸・小売」と「割烹」を営む。卸・小売が厳しい経営環境の中にあるのはここでない。話題の「ごまどうふ」は、もともと割烹で出していた品。その味が評判となり、これを小売部門の主力商品として開発することにチャレンジした。現在は商工会・中小企業応援センターなどを活用しながら、「ごまどうふ」販売へ特化した店づくりを進めている。商工会や専門会員は、簡単に進んだわけ足け品

導からだ。



その時その時に持っている自分の力を發揮できることが幸せ。と語る武川さん。いつも笑顔。

経営革新に挑む

笑顔で

中小企業応援センター事業より

に迷いがあったという。試行錯誤を続け「いけるのでは?」とのイメージが湧くまでには数年を費やした。

「小さなお店は、商品企画、製造、営業、広報、などすべて自分達でしなくてはならない。がんばっても、自信のないところや、わからないことには、手が出せない。

「ごまどうふ」を商品化するまでの不安は、言葉では表現できないほど。スタートできたのは、周りの人達のおかげ。」と当時を振りかえる。そんな経験から、商工会などの指導機関へはどんどん相談すべきだと考えている。

「頼ることは悪いことではない。でも、ただ「やってちょうどいい」というだけではダメ。自分が一生懸命やることで、周りが応えてくれるのだと思う。」と語る。

将来の夢は、地域の人たちに栽培できる。江戸屋が大切に育てている「ごまどうふ」。地域の人達の役に立つものになってほしいと願っている。



江戸屋のごまどうふ
もちもちした食感と、ほんのりとした甘みが好評。
店内でも食べられる。ネットでも購入可。
8個入り1,630円(送料別) <http://www.e-edoya.com>

SHITTOOKU-NATTOKU! しつ得なつ得!

食のLBにチャンス到来



応援コーディネーター 鷹野 啓司

ローカルブランド(LB)を取り扱う道の駅や農産物直売所、各県のアンテナショップの販売が好調です。今後の流通トレンドとしてLBに注目しましょう。

これまで小売業にとって、LBは催事や特売用、もしくは地域限定の商材でした。ところが昨今のご当地フームに乗って売場が定番化、拡大化しつつあります。首都圏の各県アンテナショップから、高速道路のSA、百貨店はもちろん、昨今では、地域のスーパーや個人商店まで、LBコーナーを設置しています。NB→PB→LBの流れは当分続きそうです。

山梨では、自家消費の米や野菜づくり、甲州味噌づくりなどが代々受け継がれ、各家庭の食文化が伝承されてきました。また食材の物々交換によって地域のコミュニケーションが図られてきました。食の原点は狭義のLBづくりと言えます。

食の安全を考える場合、無添加、減農薬、有機栽培、地産地消などのキーワードは、あたり前となりましたが、いずれも小ロットで流通経路の短いLBの最も得意とするところです。200を超える地域資源を有する山梨にとってLBの拡大はチャンスです。やまなし良品、甲州信玄ブランドといったブランドも台頭しており、商工会でも今年度、「IPPINやまなし」のブランド化を推進しています。LBの構築は、今後の地域活性化のキーワードになるのではないでしょうか。

自宅や会社から登記事項証明書を請求することができます!

自宅や会社のインターネットに接続しているパソコンから、法務省オンライン申請システムを利用して登記事項証明書を請求すると、指定された送付先に郵送され、手数料が1通1000円のところ700円（郵送料を含む。）で取得できます。手数料はインターネットバンキング又はペイジー対応のATMによりお支払いいただけます。また、平日の午前8時30分から午後8時までご利用いただくことができますのでとても便利です。



オンライン請求に必要なパソコンの環境設定は、法務省のホームページ (<http://www.moj.go.jp/>) 又はお近くの法務局で無料配布している環境設定CDにより行ってください。

ご不明な点は

甲府地方法務局登記部門
(電話055-252-7186)
へお尋ねください。

平成23年4月申告スタート!!

**今から準備が必要です！
障害者雇用納付金制度が大きく変わります**
「障害者の雇用の促進等に関する法律」の一部改正により、平成22年7月から次の①～③までが施行されます。

- ① 新たに、常用雇用労働者数201人以上300人以下のすべての中小企業に障害者雇用納付金の申告を行っていただきました。
- ② 週20時間以上30時間未満の短時間労働者を労働者等に加えて納付金の申告等を行っていただきました。（労働者の数及び雇用障害者数ともに算入）
- ③ 除外率設定業種の除外率がそれぞれ10%ポイント引き下げられることになりました。

*問合せ先

社団法人山梨県雇用促進協会 (☎055-222-2112)

■事業主の皆様に障害者を雇用する場合の相談やその他支援を行っておりますのでご活用下さい。

	内 容	相談窓口
ハローワーク	・職業紹介 ・雇用率達成指導など	山梨労働局 (055-225-2858) 各ハローワーク
障害者職業センター	・ジョブコーチ支援（ジョブコーチが企業に出向いて行う支援） ・リワーク支援（職場復帰に向けた支援）	山梨障害者職業センター (055-232-7069)
雇用促進協会	・納付金制度に基づく申告、申請受付、助成金申請受付など	山梨県雇用促進協会 (055-222-2112)

中小企業景況調査

この調査は、県内11商工会地域の製造業、建設業、小売業、サービス業の4業種165社を対象に、売上額や資金繰りなど前年同期や前期と比較しての状況や直面している経営上の問題点など会員事業所の景気動向を把握するために四半期ごとに調査し、集計値をD I (※)で表している。

= 平成22年4月～6月期 =

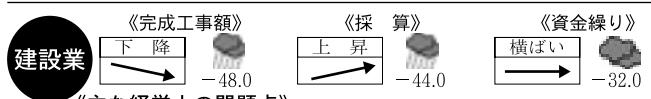
製造業の売上額D Iは、前期マイナス15.8から本期はプラス22.3と大きく改善した。

建設業の完成工事額D Iは、前期マイナス40.0からマイナス48.0と悪化した。

小売業は、前期売上額D Iがマイナス53.6からマイナス45.1と若干改善した。また、サービス業も前期売上額D Iがマイナス51.0からマイナス44.2で多少改善した。



《主な経営上の問題点》
需要の停滞(35.5%)、製品(加工)単価の低下・上昇難(19.4%)、事業資金の借入難(12.9%)



《主な経営上の問題点》
民間需要の停滞(30.4%)、請負単価の低下・上昇難(21.7%)、材料価格の上昇／官公需要の停滞(13.0%)



《主な経営上の問題点》
大型店・中型店の進出による競争の激化(29.2%)、需要の停滞(25.0%)、購買力の他地域への流出(12.5%)



《主な経営上の問題点》
需要の停滞(34.0%)、利用者ニーズの変化(22.0%)、大企業の進出による競争の激化(14.0%)

表示	好調	やや好調	普通	やや不振	不振
DI	20.0～	0.0～19.9	-0.1～-19.9	-20.0～-39.9	-40.0～

(※)DIとは、ディファージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目について「増加」「好転」したなどとする企業割合から「減少」「悪化」したなどとする企業割合を差し引いた値のこと。

『経営なんでも相談室』 (8月～10月)

○法的トラブル ○経営の近代化・合理化 ○事業承継 ○知的財産 ○創業・業種転換・資金調達 ○その他、経営全般について、バックアップする無料相談室です。

お気軽にお近くの商工会にお問い合わせください。

日 時	会 場
H22年8月18日(水) 13:30～16:00	大月市商工会
H22年9月17日(金) 13:30～16:00	韮崎市商工会
H22年10月13日(水) 13:30～16:00	市川三郷町商工会

インタビュー = INTERVIEW =

女性部交流研修会へ講演におとすれた三遊亭小遊三さんからお話をうかがいました。

まず故郷の思い出を聞かせてください。

~思い出といつても、実は今でも「山梨を出た」という感覚がないので、ずっと大月にいる感じです。

大月の家にもちょくちょく帰ります。いつでも故郷にいる気持ちです。高速道路なんかできて便利になったけど、あんまり変わってないところがいいところだと思いますね。

落語家を目指したきっかけは?

~小学生のころから「落語」を友達の前なんかでやっていました。落語が好きでしたから。だから「やってみようかな」という感じでした。姉達には、今でも「おまえ、そろそろちゃんとしたところに勤めたら?」なんていわれそうです。家でもラジオから落語がよく流れてました。落語を聞いていると家は「平和」でした。明治気質の石のような親父も笑っていましたから。落語がなにか家族共通のものでしたね。

故郷でがんばっている商工会の会員さんへメッセージをお願いします。

~私もまさか「落語家」になるとは思っていませんでした。世の中は何があるかわからないというのが実感です。だから、悪いこと以外、いいことなら何でもやってみることが大切じゃないかなって思っています。昔っから「人には添うてみろ、馬には乗ってみろ」って言いますから。どんなことでも、とにかく、やってみることが大事ってことですよね。経験だけでものを言うのは当たり前。結果を最初から決めつけずに、チャレンジすることで道が広がるんだと思っています。



がんばりました！
山梨県代表 有田まゆみさん

三遊亭小遊三師匠の「笑う門には、福来る」と題した基調講演も開催され、会場は笑いの渦に包まれた。

情報交換会では、会場を壇主ビューホテルに移し、各都県からの情報発信や芸能が披露され、本県からは南アルプス市商工会女性部による「安来節」と本県女性部連合会として「甲州よつちやばれ踊り」を披露した。その後もアトラクションの飛び入りが後を絶たず、会場は大いに盛り上がった。



各都県からお越しいただいた女性部員の皆様、本県女性部員の皆様、お疲れさまでした。



ようこそ山梨へ！ そろいのコスチュームでお出迎え。

関東ブロック商工会女性部 交流研修会 in 山梨 開催

七月八日(木)～九日(金)、河口湖ステラシティにおいて「関東ブロック商工会女性部交流研修会」が開催され、関東ブロック各都県から、五〇〇名を超える女性部員が参加した。(本県からは三二五名が参加。)

梅雨の真つた中にもかかわらず、この日は晴天となり、雄大な富士山も歓迎し、会場入り口では、山梨県の女性部員がおそろいのTシャツを着て出迎えた。

各都県女性連代表十一名による主張発表大会では、山梨県代表有田まゆみさん(中央市)が、地元中央市青年部員による力強い応

援や、本県の大勢の女性部員の支援をうけ、中央市商工会女性部のオリジナル弁当の開発や女性部活動等について堂々と発表を行った。

最優秀賞には茨城県代表の高田美知子さんが選ばれ、今年十一月に開催される全国大会への出場を決めた。

また、大月市出身の落語家で、テレビ番組「笑点」でもおなじみ

の三遊亭小遊三師匠の「笑う門には、福来る」と題した基調講演も開催され、会場は笑いの渦に包まれた。

世界トップクラスの
保険・金融グループ、
アクサで実現。

<http://www.axa.co.jp>

山梨県商工会連合会共済制度・福祉制度の一環としてお届けする
保険の世界ブランド。アクサがあなたをサポート。

新大型保障プラン

アクサのフィナンシャル・プロテクション

定期保険



普通傷害保険

アクサ生命保険株式会社
redefining / standards

アクサ損害保険株式会社
redefining / standards

アクサ生命保険株式会社 甲府支社 〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館 TEL055-226-5075

